

東京民医連

東北地方太平洋沖地震 支援ニュース

2011年3月13日

No.8 22:00

発行：東京民医連事務局

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：

soumu@tokyominiren.gr.jp

岩手県民医連 川久保病院ライフライン回復

岩手県民医連吉田事務局長から盛岡の様子が入りました。

「盛岡は電気・水道のライフラインが回復しつつあります。但し、燃料がありません。ガソリンスタンドは閉まっていますので事業所の車・通勤の燃料が心配です。スーパーも閉まっています食料や日用品が心配です。川久保病院（盛岡）はライフラインが12日夜に回復し、一段落です」「盛岡から被災地（沿岸）への道路は警察が規制をかけ、緊急車両のみとなっています。家族がいる被災地にも行けない状態です。現在県内死者が300人を超えました。」

ニュースによると大槌町では町民約1万5000人のうち非難が確認された3000人を除く約1万人が安否不明と報じられています。



茨城県民連城南病院透析患者受け入れ始まる

地震によるライフライン停止に伴う緊急の透析患者の治療が東京民医連と埼玉民医連の事業所で始まりました。3月12日には東葛、みさと協立、13日はみさと健和で透析治療を行いました。14日にはあらたに小豆沢、王子、立川、中野、埼玉協同が受け入れを行います。

今回の大震災により当院で維持透析が続行不可能となりましたが、各院所で透析患者を受け入れて下さいました。お忙しい中当院の透析患者を受け入れて下さった全ての院所及び関係者各位にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

城南病院(茨城県水戸市)診療部長

菊地修司

14日は大田病院・県連事務局が支援に宮城にむけて出発予定

現在、立川相互病院、東葛病院、東都協議会が現地に入っています。14日には大田病院が宮城県民医連坂総合病院に向かう準備を進めています。王子生協病院は14日に緊急車両の許可申請を予定。東京民医連事務局第2陣は譜久村事務局次長、滝沢医師部副部長が消毒薬、マスク、手袋などを車に積み出発します。

《現地情報》

坂総合病院が担当している避難所13カ所×2,000人、米や野菜、水、飲み物も不足。インフルエンザもはやっているとのこと。医薬品、衣類、毛布などもふくめて支援する際に一緒に運ぶ必要ありとのこと。 (川崎協同病院・大越事務局長 FACEBOOK より)

首都圏情報：訪問活動の様子～声をかけてくれてありがとう～

職員が地域訪問活動に参加しました（首都圏）。団地一人暮らしのお年寄り60人を訪問。地震の被害は少ないものの困っていること不安なことを聞いてまわりました。

- ガスの安全装置の復旧の仕方がわからず一晩過ごした。
- エレベーター復旧していないのを知らずじっと我慢して不安で眠れなかった。
- 「声をかけてくれてありがとう」の声がたくさん寄せられました。

参加した職員は「地域の人はみなさん、不安な日々を過ごしています。声かけ重要です」と話します。

※メールによる東京民医連への情報集中は、soumu@tokyominiren.gr.jp宛にお願いします。